



NISSHA

経営説明会

2020年3月24日

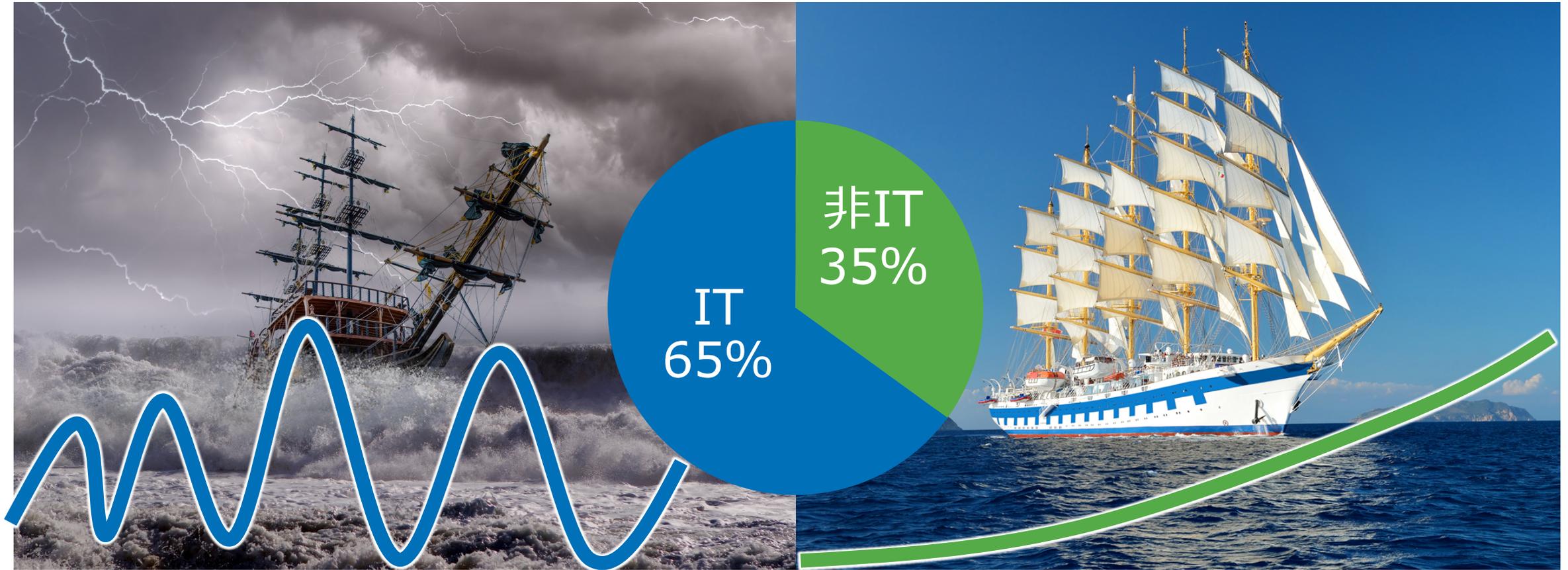
NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

事業の多様化・グローバル化が進展するも、IT市場に業績が偏重

2019年度 利益（EBITDA）※実績
5,221百万円



IT：事業機会が豊富だが環境変化が激しい

非IT：安定した成長が期待できる

非ITの重点市場で成長戦略が進展

医療機器

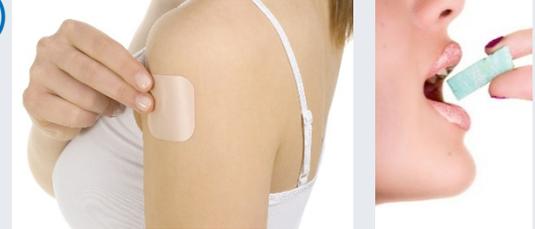


- 低侵襲
- 心疾患
- 急性医療
- 消耗品

製品ラインアップの拡充
受託製造能力の拡張



剤形変更（ドラッグ・デリバリーシステム）



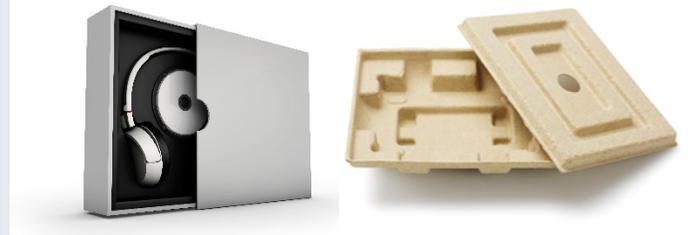
サステナブル パッケージ資材



蒸着紙のシェア拡大



新たなサステナブルパッケージ資材



モビリティ （自動車）



新たなトレンドが事業機会
CASEトレンド

- Connected=つながる
- Autonomous=自動運転
- Shared/Service=共有、サービス
- Electric=電動化

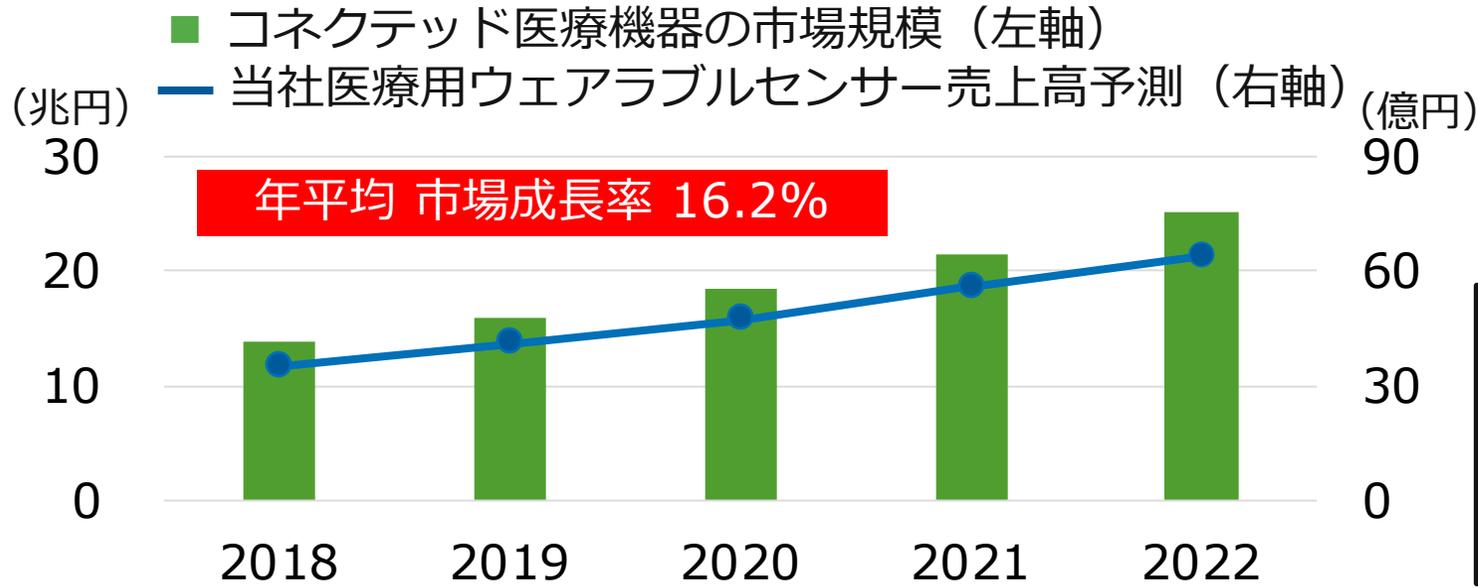


「モビリティ事業推進ユニット」設立
産業資材（内装・外装加飾）とデバイス
（機能部品）の強みを融合





医療用ウェアラブル（常時装着型）センサーの成長



各種資料を基に当社作成

- 受託製造分野
- 医療用電極の設計・製造能力を活用し、ウェアラブルセンサーを展開

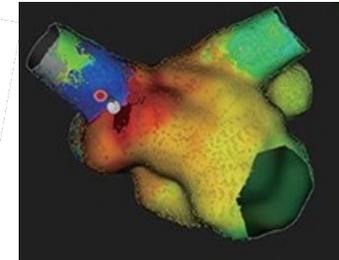


生体信号モニタリングデバイス（測定装置）



- 用途：心疾患（不整脈などの常時モニタリング）
- IT機器と連携し、データ解析に活用 ※写真はイメージです。

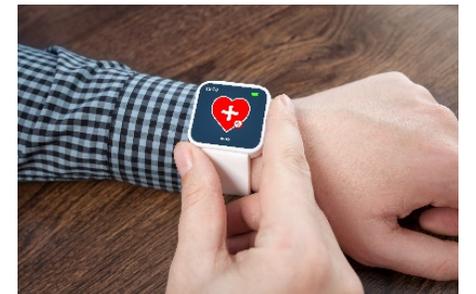
心臓マッピング（写像）用電極



※写真はイメージです。

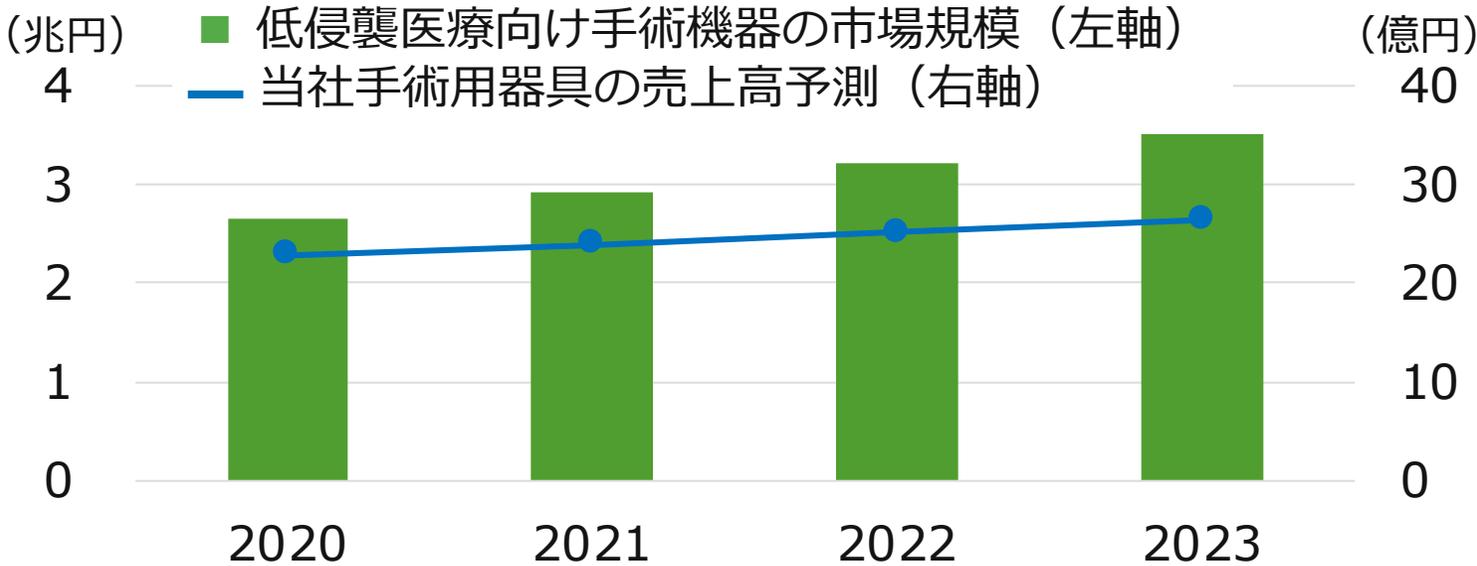
- 用途：電気生理学的検査

モニタリングデバイス（スマートウォッチなど）



※写真はイメージです。

低侵襲医療向け手術用器具の成長



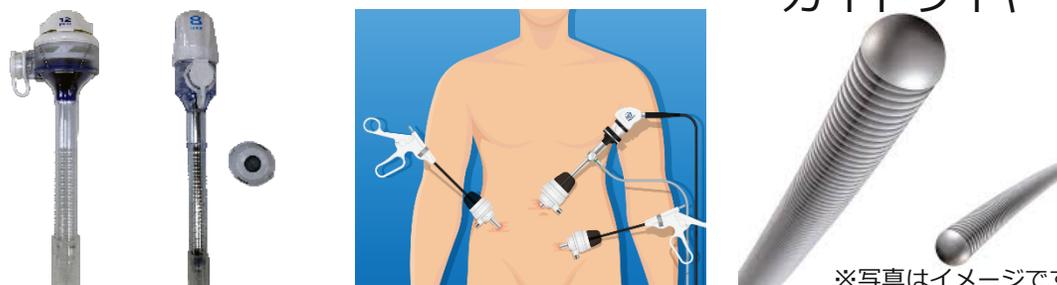
各種資料を基に当社作成

受託製造分野

- ワンパートナー
設計～開発～製造までをトータルにサポート
- 製造の最適化
手動ライン 半自動ライン 全自動ライン



腹腔鏡手術用器具・ガイドワイヤ



ガイドワイヤ

※写真はイメージです。

- 用途：心疾患、消化器疾患（腹腔鏡手術）
- 患者負担の軽減のため、器具の小型化が必要

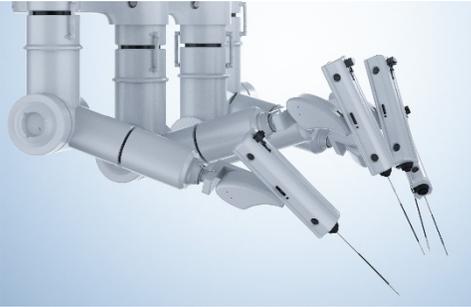
エネルギーデバイス



※写真はイメージです。

- 用途：組織や臓器の切開または止血

手術用ロボット



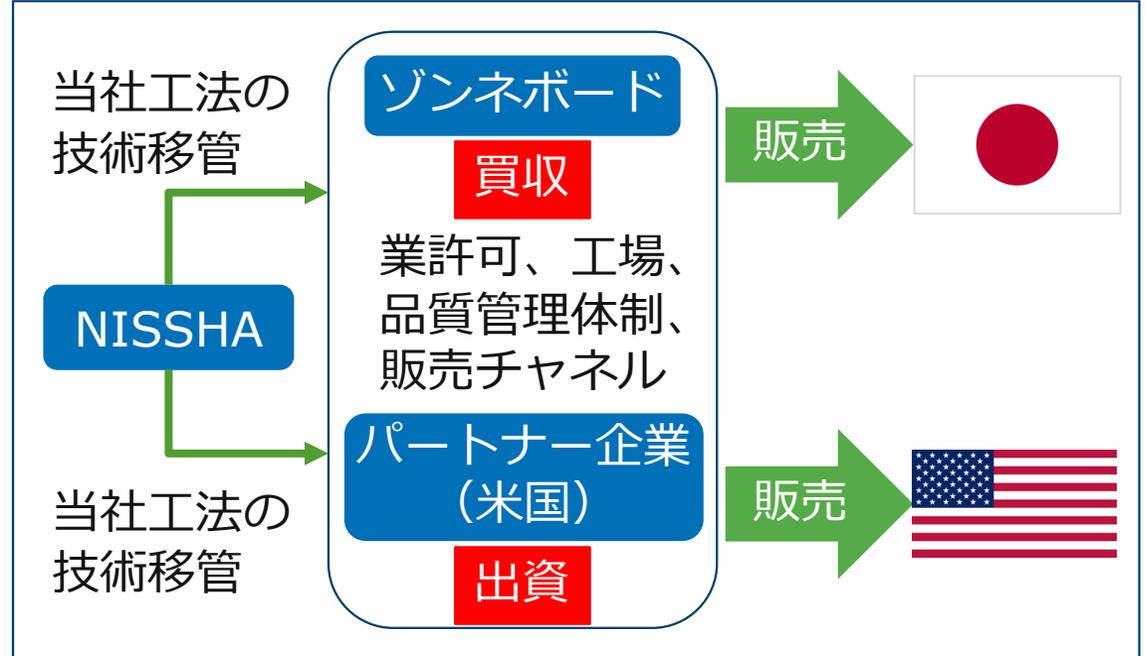
※写真はイメージです。

- センシング技術による高機能化ニーズ

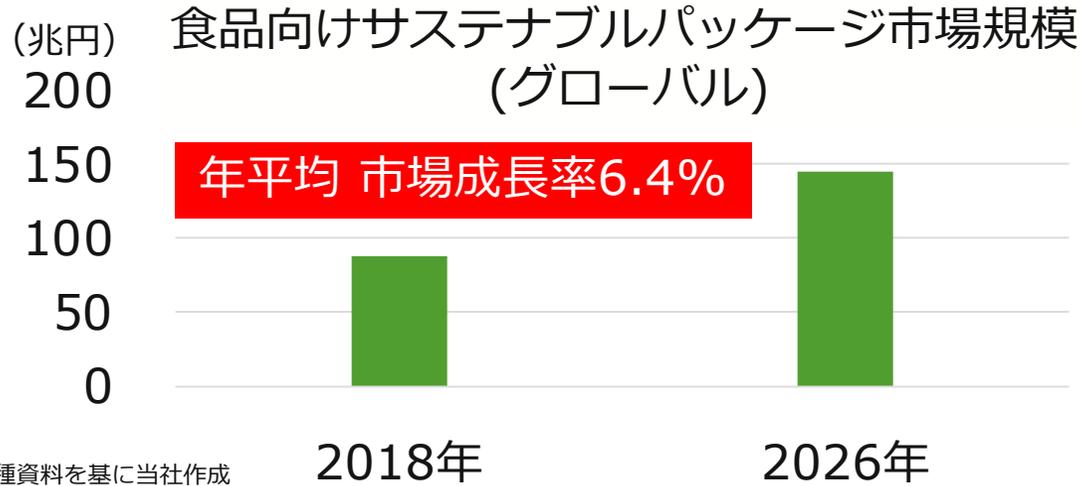
医薬品ドラッグ・デリバリー・システムに本格参入 ゾンネボード製薬（日本）の買収が完了

- 医薬品市場への参入に必要な業許可、生産工程、品質管理体制、販売チャネルなどの事業基盤を獲得
- フィルム状製剤の開発を加速
- 2024年をめどにゾンネボード製薬でフィルム状製剤を上市
- 2030年までに医薬品ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）で200億円規模の売上高を目指す

- 錠剤や注射剤からの剤形変更が市場機会
- 当社は製剤設計・製造を行う
- ターゲットはフィルム状製剤
 - ゾンネボード製薬に当社工法を技術移管
 - 米国パートナー企業に当社工法を技術移管

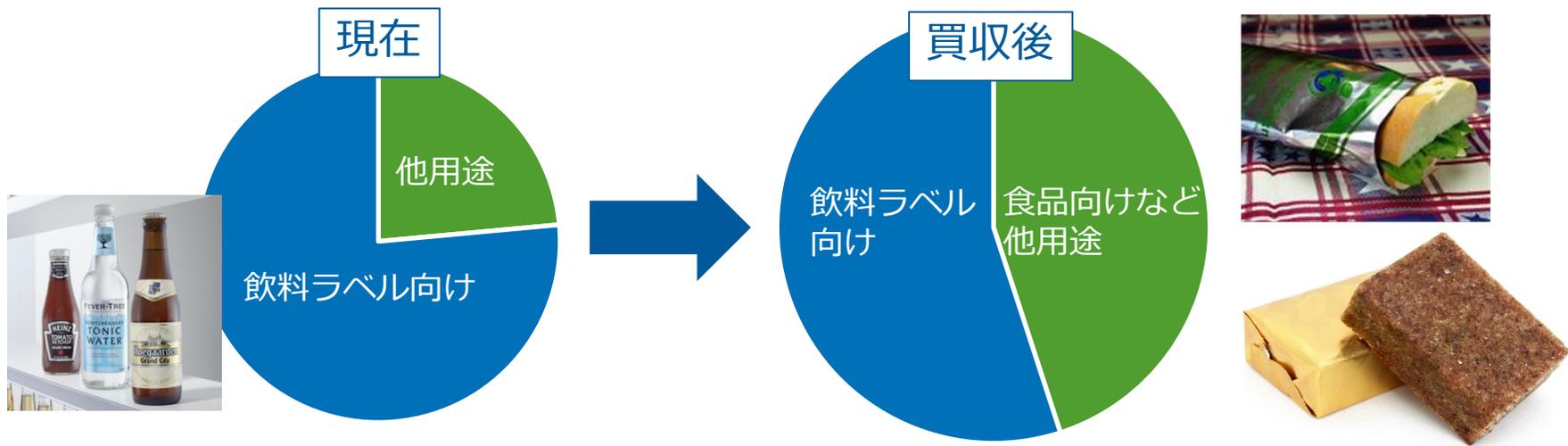



蒸着紙のシェア拡大により競争優位を確保 Eurofoil Paper Coating (ドイツ) を買収



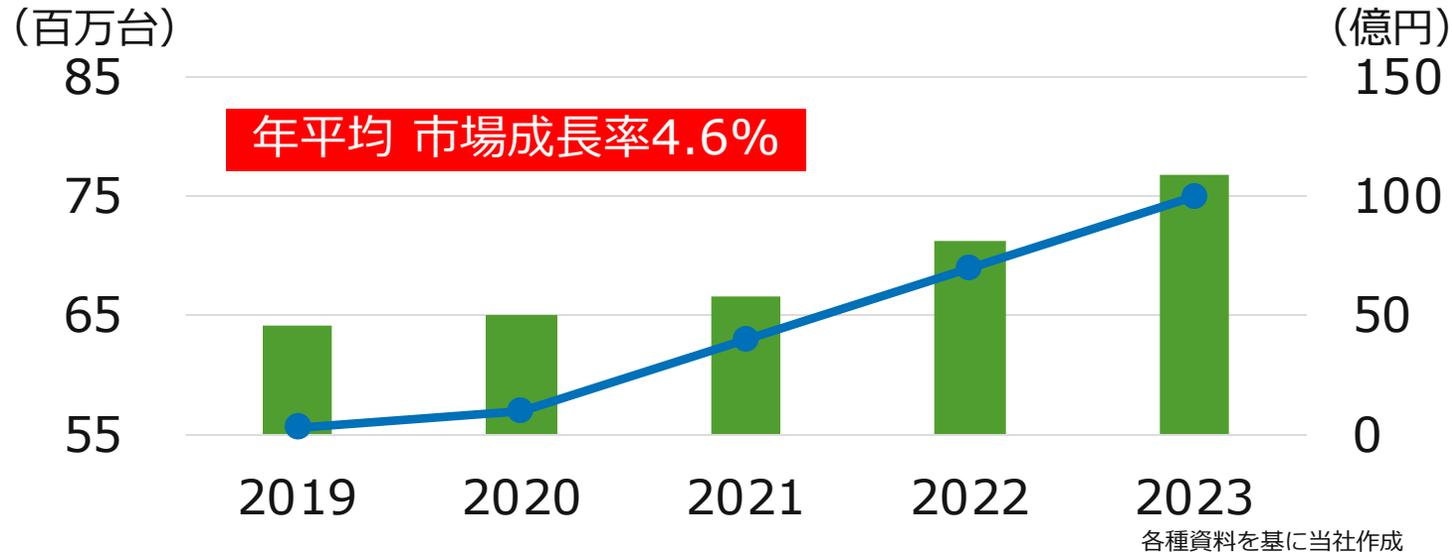
- 蒸着紙のグローバルリーダーとしての地位を強固なものとし収益性向上
- Eurofoilの加工技術・生産能力を活用し新製品の開発を加速
- 蒸着紙の売上高は2019年の156億円から2020年に220億円を突破する見通し

サステナブルパッケージの需要が高まる食品向けを中心に新製品を拡大



タッチセンサー（フィルムタイプ） モビリティ（自動車）向けで伸長

■ 車載タッチセンサー市場規模（左軸）
— モビリティ向けタッチセンサーの当社売上高予測（右軸）



モビリティ（自動車）市場の車載タッチセンサーへのニーズ



- 大画面 ✓
- 異形・曲面 ✓
- 光学特性 ✓
- OLEDとの親和性 ✓

- ニーズに対応できる当社のタッチセンサー（フィルムタイプ）
- 安定的に大量供給できる生産体制
- モビリティ（自動車）向けに量産供給を開始（2019年12月）

ご清聴ありがとうございました

NISSHA